

令和2年度使用 茨城県第4採択地区 教科用図書採択理由書

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
音楽 (一般)	27 教芸 中学生の音楽	<p>○それぞれの楽曲ごとにねらいが明確に示され、その楽曲で学べる音楽の諸要素が示されていることにより、何を学習するのかを生徒が意識して学ぶことができる。生徒が主体的に学ぶ授業展開を想定した構成になっている。</p> <p>○多くの楽曲でピアノ伴奏譜が掲載されており、生徒が生徒の伴奏で練習し、自分たちで学び、それを発表することを想定して編集されている。</p> <p>○中学生の心に響く楽曲や、どこかで耳にしたことのある楽曲が多く掲載されており、音楽を愛好する生徒が育つ効果が期待できる。</p> <p>○歌唱・創作・鑑賞の三つの活動を組み合わせて題材が設定され、それぞれの楽曲での学びを通して題材(単元)のねらいに到達できるように構成されている。</p> <p>○日本の伝統的な音楽や諸外国の民族音楽など学年段階に応じて幅広く学習できる教材が掲載され、それに関する資料や鑑賞のポイントも分かりやすく明示され、音楽文化への理解が深まるよう配慮されている。</p> <p>○ゲーム形式の活動を用いて、小学校から前学年までの復習を兼ねた音楽用語等の基礎的な内容を、楽しみながら学習できるように工夫されている。</p> <p>○「グレードアップ」コーナーによって、段階的に発展的学習に取り組める。また、話し合うポイントが示されているので、生徒間の学び合い活動が深まりやすい。</p> <p>○色覚特性や特別支援教育の視点から、学習上重要な情報が確実に読み取れるように配慮されている。</p>
教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
音楽 (器楽)	27・教芸 中学生の器楽	<p>○楽器の技能習得は個人の努力によるところが大きいですが、2人以上で演奏できる楽曲を多く掲載し、協働で学ぶ学習場面を想定して構成されている。</p> <p>○全体を通して段階的に無理のない教材が配列され、身に付けさせたい技能に応じて適切な楽曲を配置し、基礎的な技能の習得を図ることができるように配慮されている。</p> <p>○「Q &amp; A」「演奏のポイント」「音を聴いて確かめよう」等、よりよい演奏にするためのポイントを示し、主体的に学習活動に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>○一般(音楽)の教科書と色分けしてあるので、視覚的にも区別しやすくなっている。</p>